

教員名	秋山 敏行（あきやま としゆき）
専門分野	美術科教育…「子ども一人一人で異なる表現のありよう（絵を描いたりものをつくったりするときのやり方）とその意味とは？」 「造形遊びの意味と意義とは？」「造形遊びをはじめとした図工・美術の“学び＝遊び＝楽しい”の仕組みとそれを保障するための教師の役割・振る舞いとは？」などについて探求しています
担当している主要な授業	造形表現の指導法（1年生前期）、初等図画工作（2年生後期） 初等図画工作科教育法（3年生前期）など
卒業研究に関する情報	<ul style="list-style-type: none"> ■ 卒業研究は論文で、卒業研究展ではポスター発表を行います ■ 文献精読をはじめ様々な実践・省察等により、各自の興味・関心に応じて設定した問いを探求していきます。その際、可能な限り小学校などの教育現場に足を運ぶなどして理論と実践のバランスをとりながら、子どもの学ぶ姿に学びたいと考えています ■ これまでの卒業研究（論文）題目の一部 「造形的な活動における子どもの個性について」 「ぬいぐるみのもつ力についての研究」 「レッジョ・エミリア・アプローチの特徴を活かしたプロジェクト活動の提案」 「美術×書道による題材の開発」など ■ 「初等図画工作」（2年後期）の受講が望ましいです
受け入れ人数	3人
面談の方法	■ 時間があればいつでも構いませんが、不在のこともあるので、メール(akiyama.toshiyuki.zw@ehime-u.ac.jp)でアポイントメントを取ってください
学生へのメッセージ	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 子どもたちは自分にとって魅力・価値のあるものを自ら作りだしています。それは私たち大人にとっては取るに足りないものかもしれません。しかしそれは見方を変えると、私たちの予想を遥かに超える“新しい世界”ともいえるもので、私たち大人のもつ“常識＝当たり前”を一旦脇に置いておかないと見えてこないものでもあります。そこで、文献を読んだり、子どもたちと様々にかかわり合ったりする中でその“常識＝当たり前”を一旦脇に置き、ともに新しい世界をつくりだしてみませんか？ ◎ 図工が苦手という人や迷っている人なども大歓迎です。図工が苦手な子どもへの理解も深まりますし、将来、小学校の教師になった際のかかわり方を考えるよい機会にもなると思います